

学校法人日本工業大学 募金のお願い

みらい募金は、学校法人 日本工業大学が重点的に取り組む「奨学金」「施設・設備の拡充」「教育・研究の推進」「その他」の4事業の中から、寄附者の皆さまに寄附金の使い道を指定いただける募金制度です。新たな100年をつくり育むため、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

募集金額：1口1万円 / 1口以上

※1万円以下の寄附金も謹んで頂戴いたします

寄附項目：奨学金事業、施設・設備拡充事業、
教育・研究推進事業、その他の事業

発送時期：お申し込みいただいた方から順次

活用用途：本誌掲載事業へ充たさせていただきます

学園全体へのご寄附 | 用途を特定せず大学にご一任いただける場合は「学園全体へのご寄附」をお選びください

カンタン
決済

インターネット・コンビニ・ゆうちょ銀行、どれでもお支払いいただけます。

※振込手数料は学校法人日本工業大学が負担いたしますが、ゆうちょ銀行では、2022年1月17日(月)より、窓口・ATMにて「現金で払込む場合」には、110円の料金が寄附者様に加算されるようになりましたので、ご注意ください(「口座からの支払い」を選択すれば、加算料金はかかりません)。詳細につきましては、ゆうちょ銀行のホームページをご確認ください。※領収書は税務申告の際に必要となりますので、大切に保管願います。

GIFT

〈ご寄附いただいた方への返礼品〉



〔限定〕日本工業大学ロゴ入り SLペーパークラフト
※2109号蒸気機関車を再現しています。是非ご挑戦ください!

実物大の迫力を
博物館でご覧ください。

2021年に130歳を迎えた2109号蒸気機関車は、これまで多くの皆様に愛されてきました。お申し込み不要・入場無料の工業技術博物館で、支援者の皆様のご来館をお待ちしています。

箱根登山鉄道
モハ103号も展示中

N I T
M I R A I B O K I N

新たな100年をつくる、育む

日本工業大学
NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY

学校法人日本工業大学 みらい募金

INFORMATION

2022年度

ご寄附のお願い

学校法人日本工業大学



How to Apply

みらい募金 お申し込み方法

個人の皆様へ

インターネットからのご寄附について



スマートフォンでの申し込みはこちら

学校法人日本工業大学への寄附は、インターネットからのお申込みが便利です。クレジットカード決済をはじめ、下記決裁のご利用が可能です。
学校法人日本工業大学 [寄附サイト] <https://scfo.nit.jp/mirai/>

クレジットカード
決済



コンビニ
決済



オンライン
決済



Pay-easy
決済



振込用紙によるご寄附について

添付の寄附申込書兼払込取扱票を使用し、全国のゆうちょ銀行(郵便局)にてお手続きください。

法人の皆様へ

本学園に対するご寄附は、一般寄附金の損金算入限度額と別枠で当該事業年度の損金に算入することができます。
損金算入にあたっては2つの制度があります。

①

特別公益増進法人に対する寄附金
(寄附金を一定の限度額まで損金算入できる)

②

受配者指定寄付金
(寄附金の全額を損金に算入できる)

※受配者指定寄附金は、日本私立学校振興・共済事業団が寄附金を受け入れ、寄附者が指定した学校法人に寄附金を配布する制度です。

[お申し込みの詳細は本学HP、または法人事務部へお問い合わせください]

NIT インフォメーション

昨年度の学校法人日本工業大学の施策をご紹介します。皆様のおかげで実施できましたこと御礼申し上げます。



NIT INFO 2021.11

木造建築工房、休憩所の引渡式を実施

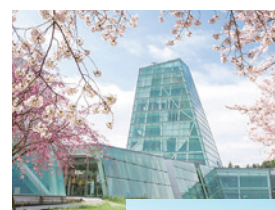
教育プログラム「カレッジマイスタープログラム」の一つ、「木造建築工房」で学生たちが小規模建築を企画・設計・施工まで一貫して行いました。参加した学生・教員たちは1年間のプロジェクトの思い出を語り合いました。



NIT INFO 2021.07

埼玉県環境部主催 環境コミュニケーション 開催

埼玉県環境部主催、9回目の「環境コミュニケーション」が本学を会場として開催されました。企業等の事業所の化学物質の管理を始めとする環境活動をテーマに、参加学生から多くの質問が提示され熱心な議論が行われました。



学校法人日本工業大学
理事長 柳澤 章

これまでの100年の思いを載せて、
これからの100年をつくり、育むため、
皆様のご協力をお願い申しあげます。

学校法人日本工業大学は、1907(明治40)年に設立された東京工科大学をルーツとし、大正、昭和、平成そして令和と、幾多の時代の荒波と困難を乗り越え、皆様に支えられて発展してきました。

現在は「広く世界の発展と調和に貢献する先進的人材の育成」を基本理念とし、日本工業大学・大学院 日本工業大学専門職大学院、日本工業大学 駒場中学・高等学校を運営しています。

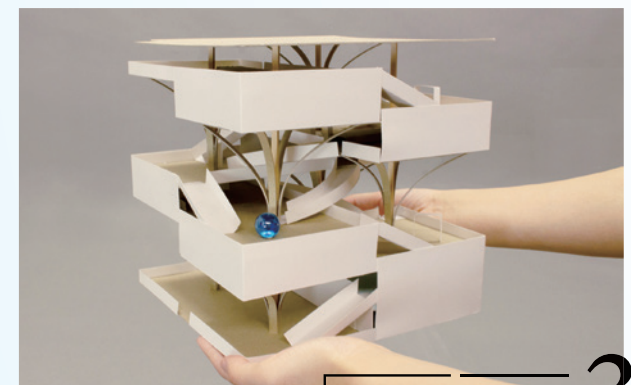
これまで培ってきた誇りと伝統を胸に、本学園が社会に向けて有為な人材を送り続けられるよう、私たちの未来を切り開く「みらい募金」へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

発行元 | 学校法人日本工業大学 法人事務部募金担当

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5 / TEL:03-3511-7590 / FAX:03-3511-7595
MAIL:bokin@nit.ac.jp / <https://scfo.nit.jp/mirai/>

Can do みらい募金

みらい募金が叶える、ミライのNIT。募金の使途は下記4つの事業がございます。



教育・研究の推進

昨今、学校に求められる教育の内容も大きく変化しています。思考力、判断力、行動力といった幅広い能力の涵養が求められる中、ICT教育やアクティブラーニングの深化に向けた環境整備を推進いたします。特定の研究者または研究テーマを指定してのご寄附も可能です。

The Future of NIT PROJECT 1

奨学金の制度・拡充

昨今、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、学生の修学継続に大きな暗い影を落としています。将来への希望を抱いて勉学に取り組む強い意欲を持ちながらも、経済的に恵まれない環境にある学生・生徒の生活を支えるため、独自の奨学金事業を数多く展開しています。本学園の学生・生徒への力強いご支援を賜りますよう、宜しくお願いいたします。



The Future of NIT PROJECT 2

施設・設備の拡充

学生・生徒に対する新たな学びの場の提供や、修学環境の向上を進めています。2017年には、日本工業大学に多目的講義棟やダイニングホールなどを建設。日本工業大学駒場中学・高等学校では、校舎の大規模リニューアル工事を行いました。

The Future of NIT PROJECT 4

その他各事業の推進

1～3以外の使途をご指定される場合、あるいは特段のご指定はなく、学園全体を応援いただける方は、こちらからご寄附をお願いいたします。使途のご指定は備考欄にご記入ください。できる限り、ご意思に沿って活用させていただきます。

SDGs の継 続、研 究

約20年前から環境推進活動に取り組み、本学独自のNIT-EMS(日本工業大学環境マネジメントシステム)を運用するなど、工学教育を通じて環境保全へ貢献してきました。また、伝統の実工学教育により人に寄り添う次世代の技術者を育成し、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」持続的な社会の実現に必要な人材を輩出していきます。

The Future of NIT PROJECT 3 「海洋とプラスチックの課題」の解決に向けて

本学と新潟環境ネットワーク学生団体との共同イベントにより、海洋プラスチック問題の知識習得や、実際に海岸や河川の清掃活動を行うことで、海洋プラスチックの問題解決に貢献しています。



The Future of NIT PROJECT 4 NIT 100円朝食

特設サイトはこちら



「NIT100円朝食」とは、これまで様々な事由で朝食を摂れなかった学生が、大学で朝食を食べて元気に授業へ参加することを目指し、1食あたり100円で提供する取り組みです。みらい募金を原資として2022年4月より運営されています。

※NIT100円朝食へのご寄附は「その他の事業」をお選びください。



The Future of NIT moving forward together 数値でみる みらい募金 あなたのみらい募金でできること

The Future of NIT PROJECT 4

1万円の寄附で

学生の朝食 25 食分



The Future of NIT PROJECT 2

10万円の寄附で

ウォータースタンド 1 台分



3 安全な水 6 清潔な水 13 健康的な水 14 海の豊かさを守ろう
安全なキャンパスライフを過ごすよう、NITが取り組むSDGsの一つです。

The Future of NIT PROJECT 1

50万円の寄附で

学生1人の 約 1 学期分 授業料



The Future of NIT PROJECT 3

100万円の寄附で

資格等 取得奨励金 最大 100 名分



STUDENT VOICE

平尾 優香 さん

【電気電子通信工学科】



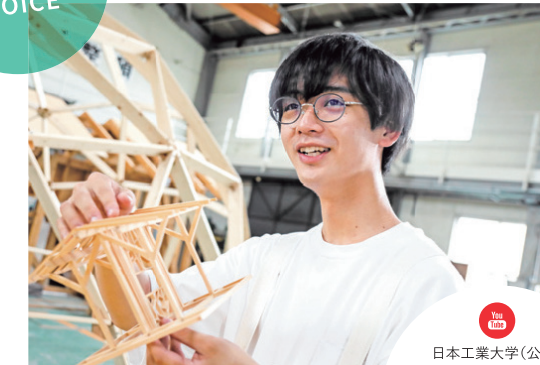
インタビュー動画 配信中!

大学院でさらに深く学んでいきたい

現在、人が解くには難しい問題や時間がかかってしまうようなことに、最適解を導き出すための研究を行っています。プログラミングの知識やスキルを深く学ぶために、今後は大学院に進学し、より専門的なスキルを高めて、社会の役に立つものを生み出していきたいです。

※4月から大学院工学研究科にてより幅広く専門的な分野を学ばれています。

STUDENT VOICE



日本工業大学(公式)

大石 健斗 さん

【建築学科建築コース】

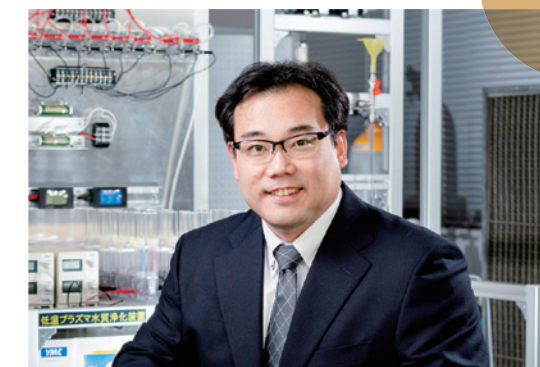


インタビュー動画 配信中!

使う人の気持ちを考えた設計を目指して

建物を設計する上で大事なのは、使う人の気持ちを考えることだと思います。将来は建築士になり、使う人が安心できるような建築や心に残るような建築を作りたいと思っています。そのため、設備が充実した研究室で、設計技術をさらに磨いていきたいです。

RESEARCHER VOICE



桑原 拓也 准教授

【基幹工学部機械工学科】



「水で水をきれいに」にし、SDGsの達成へ

飲み水の確保は、生命維持に直結する問題です。水で水をきれいにできれば、飲み水の確保をめぐる様々な問題を解決できるという発想のもと、流体力学を中心に多様な技術を融合させた研究を行っています。ご支援による継続的な研究を続け、実用化に近づけていきます。